

「芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の分子病理学的検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

埼玉医科大学総合医療センターで1990年1月1日から2027年12月31日まで芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍 (blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm, BPDCN) あるいはBPDCNと鑑別が問題となる境界的病変などの診断を受けたと診断された患者さんです。

2. 研究の目的

BPDCNは、2008年のWHO分類で初めて独立した疾患概念として定義された形質細胞様樹状細胞の前駆細胞に由来する稀な疾患です。急激な経過をとる生存期間中央値12か月程度の予後不良疾患で、標準治療は確立されていません。有効な治療法の開発のため分子病理学的理解が求められていますが、その稀少性と疾患概念の確立の遅れ等から診断および治療に資する知見が不十分です。そうした患者さんに対して、新たな治療法の適応となるマーカーなどを調べるために本研究を行います。

3. 研究期間

病院長の許可後～2028年3月31日

4. 利用または提供の開始日

2025年6月5日（研究承認日）以降

開始日以降研究の利用停止などの申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍 (blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm, BPDCN) は、形質細胞様樹状細胞の前駆細胞に由来する稀な疾患です。近年技術の進歩とともに、腫瘍を引き起こす遺伝子異常が次々にわかってきました。本研究は、以前に患者さんから採取した検体の一部を用いて、遺伝子解析やRNA・タンパク発現を通じてリンパ腫の発症やお薬の効き方などを調べるためのものです。この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である百瀬修二が、個人が特定できないよう加工した上で

管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍または芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍と鑑別が問題となる境界的病変などの診断を受けた患者さんの検査を実施した際に生じた残余検体、検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

竹内賢吾（がん研究会がん研究所病理部・部長）：症例抽出

4. 試料・情報の管理責任者

<提供元機関> 埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮好文

<提供先機関> 竹内賢吾（がん研究会がん研究所病理部・部長）

5. 試料・情報の提供について

他機関に提供する場合は、郵送にて情報を提供し、学会発表ないしは学会誌等で公表することがあります。この際、個人情報かわからないように公表します。試料提供に関しては、研究責任者あるいは研究実施者が直接持っていくこともあります。

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学 総合医療センター 病理部 教授 百瀬修二 電話：049-228-3522

血液内科 教授 多林孝之 電話：049-228-3471

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3522（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：momose@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の分子病理学的検討

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター病理部 百瀬 修二